

平成20年度 市民意識調査結果

概 要 版

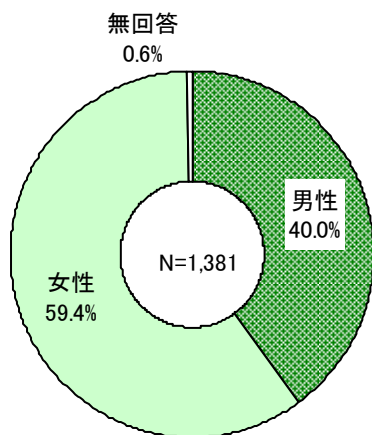
総合計画を策定し、この計画に着手し3年目を迎え、この間に市が進めてきたまちづくりについて、市民の皆さまが日ごろ感じておられることをお伺いしました。

- ◆ 調査対象：20歳以上の市民 2,500 人
- ◆ 調査方法：郵送配布・郵送回収
- ◆ 回収結果：1,381 人（55.2%） 前回平成 17 年実施 1,688 人（67.5%）
- ◆ 調査期間：平成 20 年 6 月

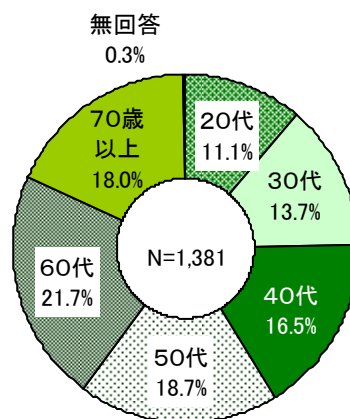
平成20年9月
恵 那 市

1 回答について

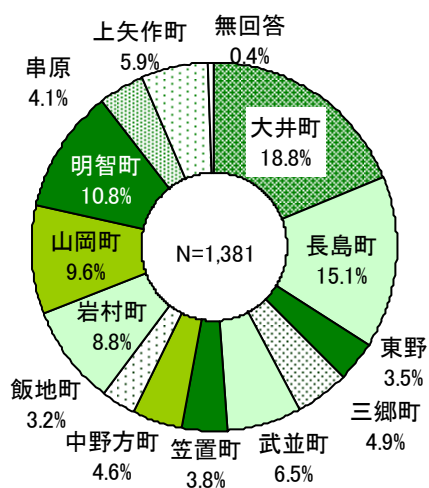
性別



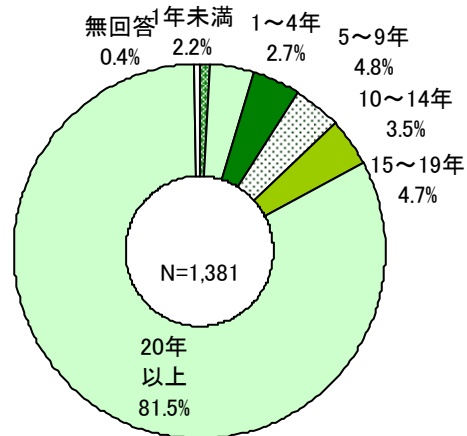
年齢



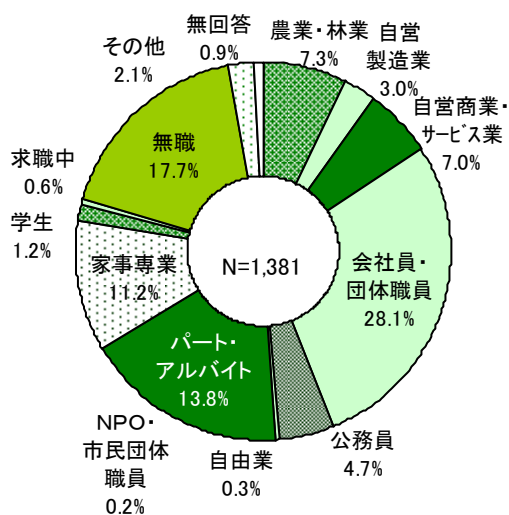
居住地



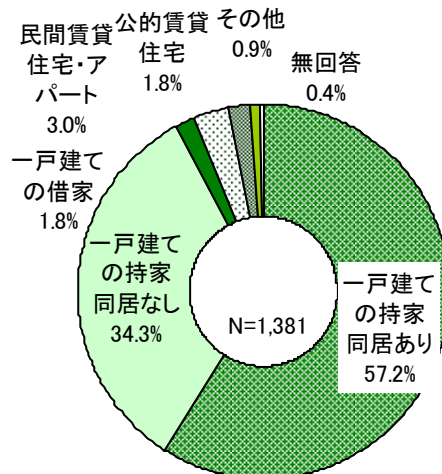
居住年数



職業



住宅の種類



2 市政に対する評価

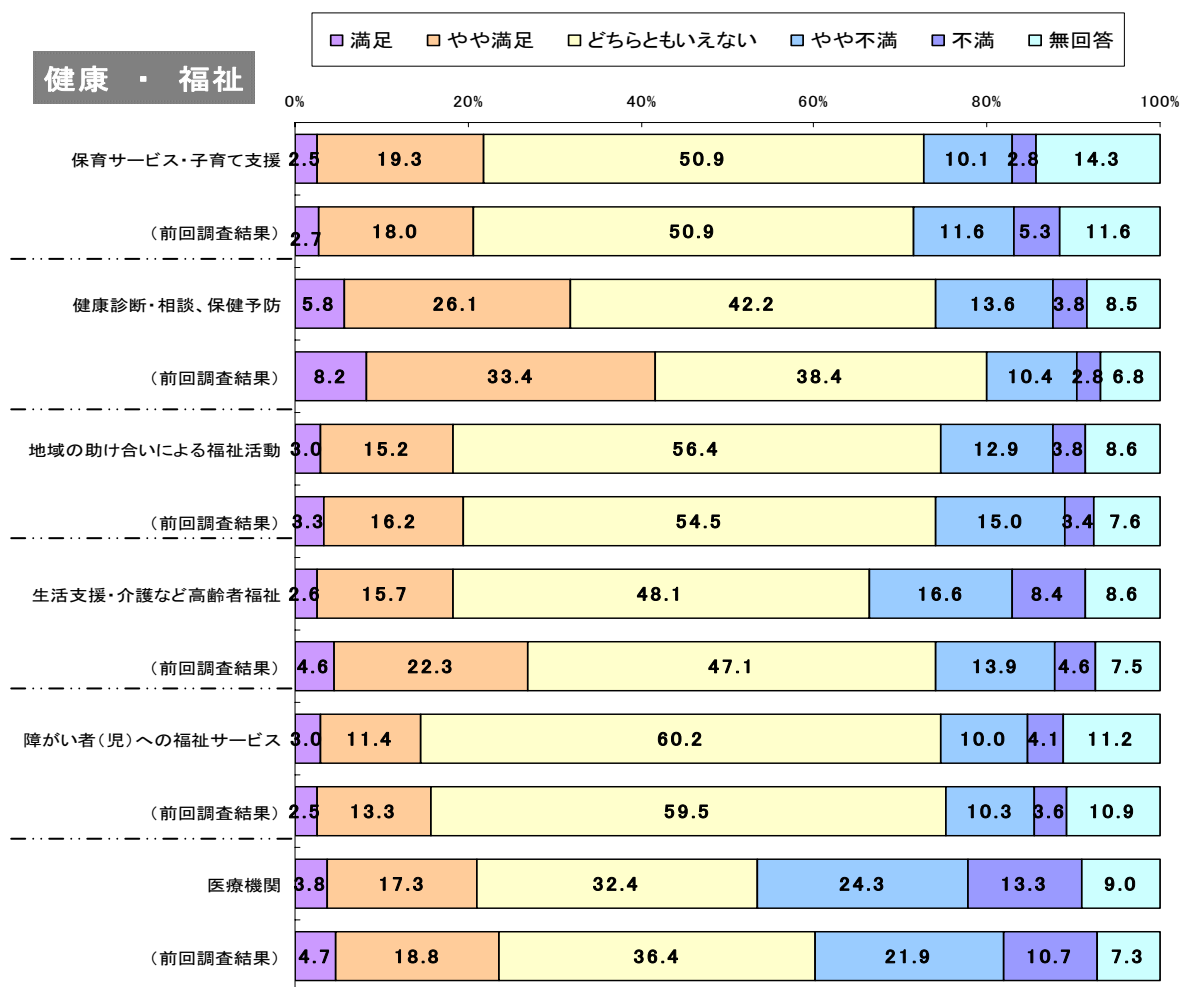
個別施策55項目に対する満足度を前回調査と同じ質問で行いました。

「満足」「やや満足」合わせた満足度の高い施策は、「上下水道・簡易水道の整備」46.8%（前回 46.0%）「ごみ収集と処理サービス」45.0%（前回 44.4%）「買い物の便利さ」38.2%（前回 39.9%）が前回同様上位となっています。今回満足度が高くなった項目は、「図書館の整備と蔵書数」32.5%（前回 17.1%）で、「広報による市情報の提供」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「下水道・合併処理浄化槽の整備」が順位を上げる結果となりました。

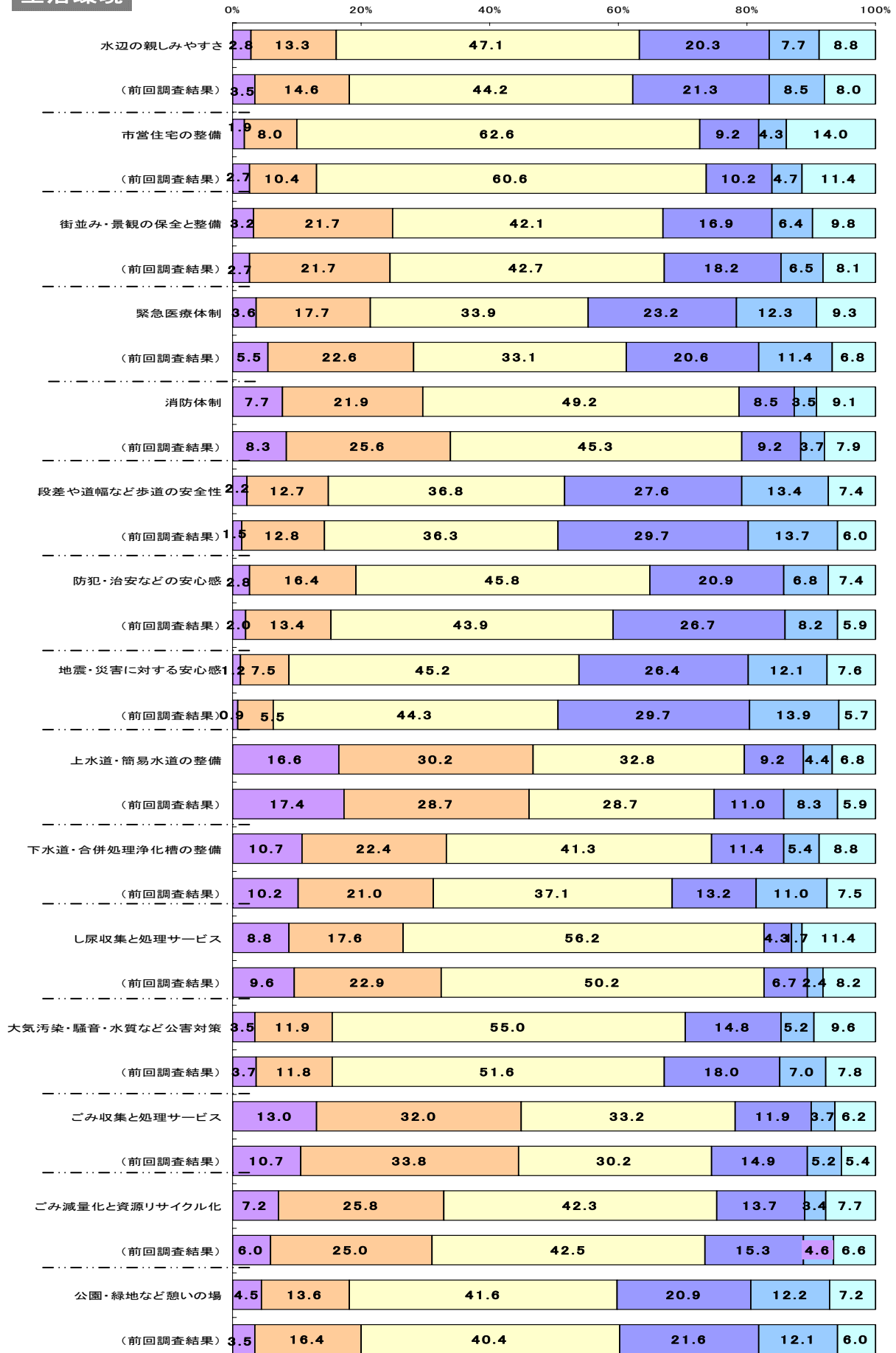
一方、「不満」「やや不満」を合わせた不満度の高い項目は、前回同様「商店街のにぎわい」52.5%（前回 54.7%）「魅力ある働く場の確保」51.5%（前回 52.8%）「JR・民間バスの便利さ」46.9%（46.6%）が高く、今回特に不満度が上がった項目は「医療機関」37.5%（32.6%）「農業の振興対策」36.6%（29.5%）「緊急医療体制」35.5%（32.0%）となりました。

各項目別の満足度調査結果は以下のとおりです。

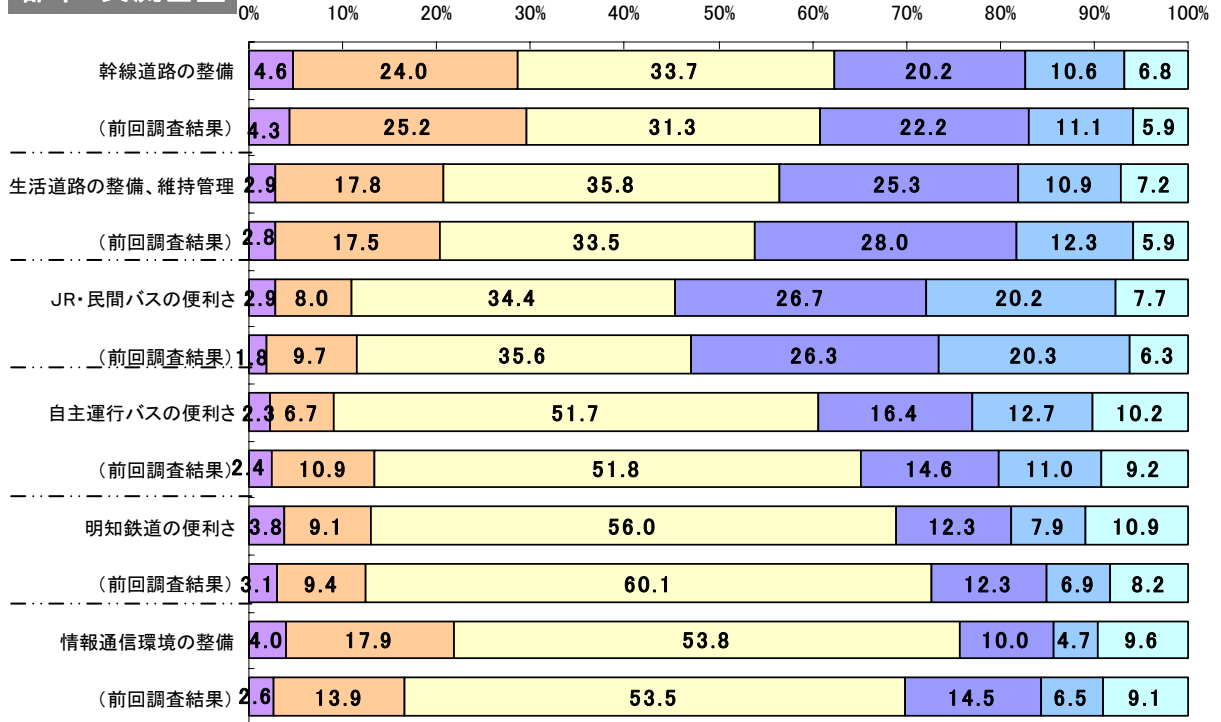
（上段：今回調査、下段：前回調査）



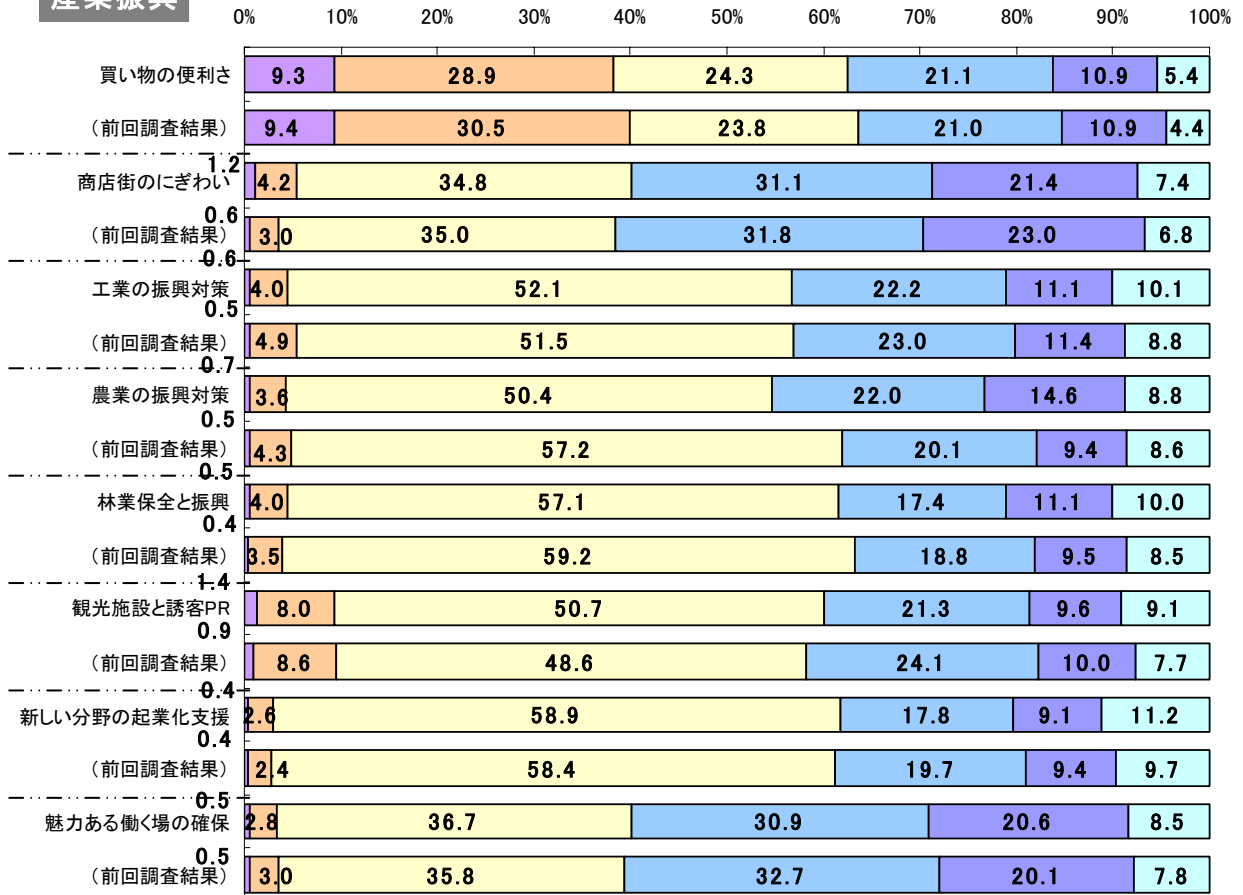
生活環境



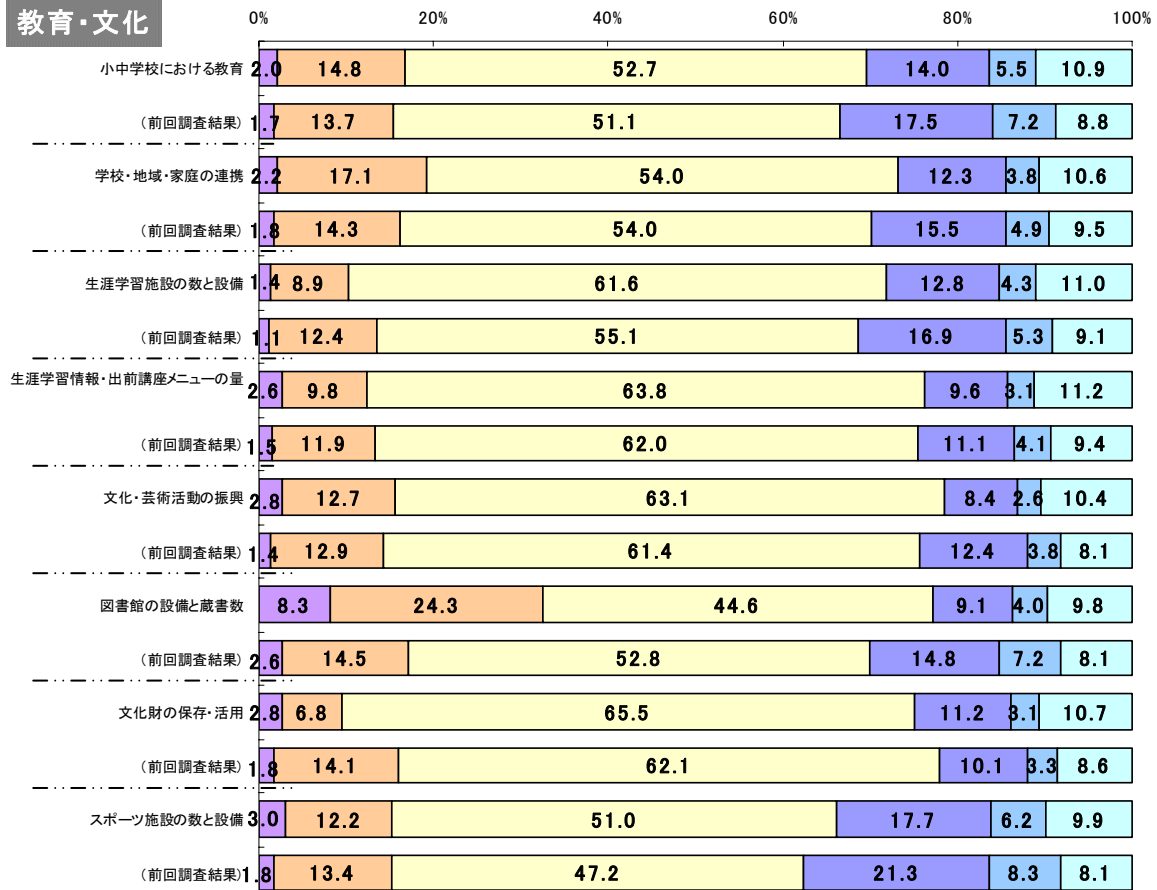
都市・交流基盤



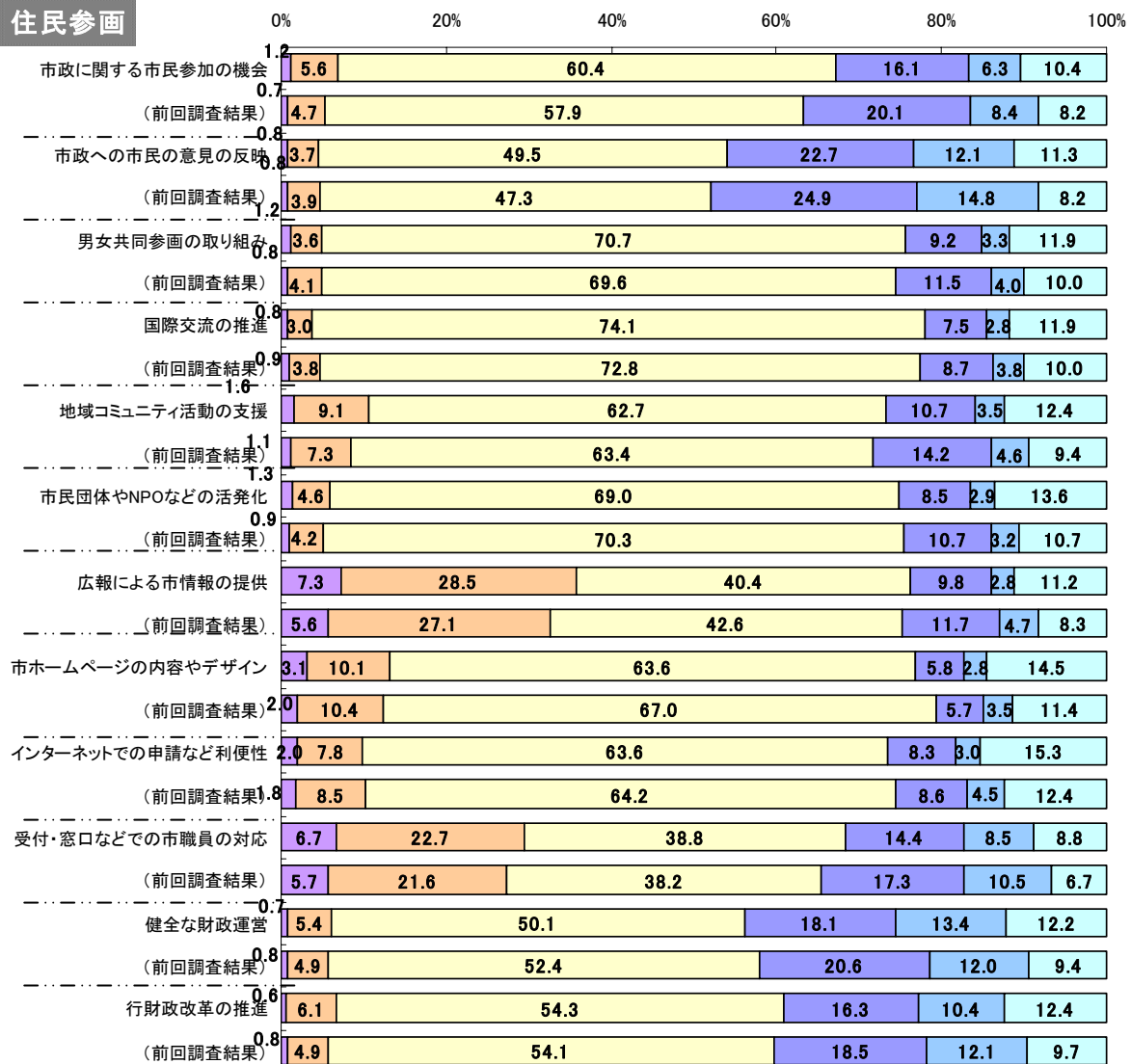
産業振興



教育・文化



住民参画



3 施策の満足度・不満度・重要度

個別施策55項目に対する満足度を5段階で尋ねました。「満足」「やや満足」を合わせた満足度が高かった上位10項目は以下のとおりです。

満足度の高い施策 トップ10	今回満足度	前回満足度	前回順位
①上水道・簡易水道の整備	46.8%	46.0%	1
②ごみ収集と処理サービス	45.0%	44.4%	2
③買い物の便利さ	38.2%	39.9%	4
④広報による市情報の提供	35.8%	32.6%	6
⑤下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.1%	31.2%	8
⑥ごみ減量化と資源リサイクル化	33.0%	31.0%	9
⑦図書館の設備と蔵書数	32.6%	17.1%	—
⑧健康診断・相談、保健予防	32.0%	41.6%	3
⑨消防体制	29.6%	33.9%	5
⑩受付・窓口などでの市職員の対応	29.4%	27.3%	—

「不満」「やや不満」を合わせた不満度が高かった上位10項目は以下のとおりです。

不満度の高い施策 ワースト10	今回不満度	前回不満度	前回順位
①商店街のにぎわい	52.5%	54.7%	1
②魅力ある働く場の確保	51.5%	52.8%	2
③JR・民間バスの便利さ	46.9%	46.6%	3
④段差や道幅など歩道の安全性	41.0%	43.4%	5
⑤地震・災害に対する安心感	38.5%	43.6%	4
⑥医療機関	37.6%	32.6%	—
⑦農業の振興対策	36.6%	29.5%	—
⑧身近な市道・生活道路の整備、維持管理	36.2%	40.3%	6
⑨緊急医療体制	35.5%	32.0%	—
⑩市政への市民の意見の反映	34.8%	39.7%	7

個別施策55項目に対する重要度5段階で尋ねました。「高い」「やや高い」を合わせた重要度が高かった上位10項目は以下のとおりです

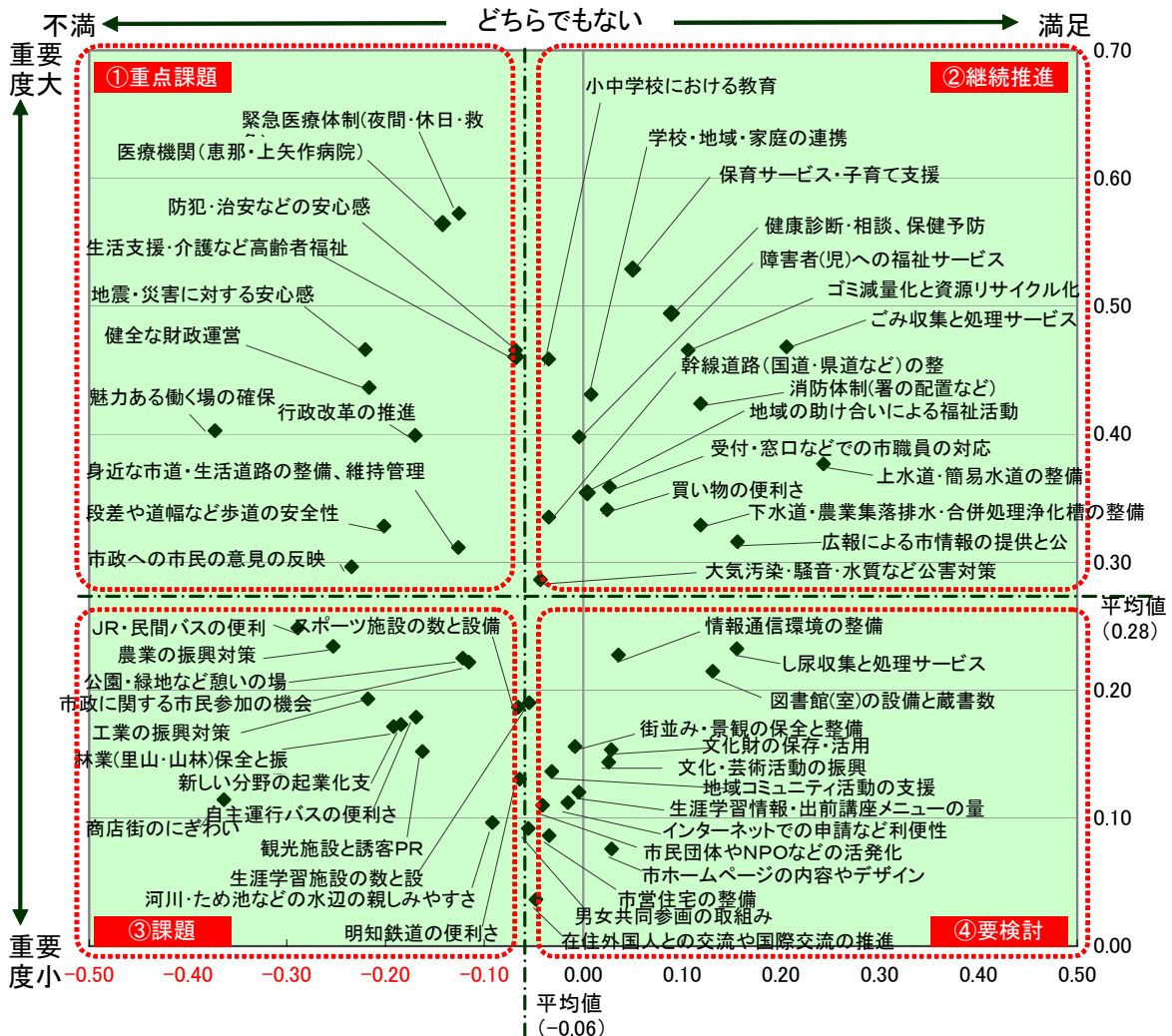
重要度の高い施策 トップ10	今回重要度	前回重要度	前回順位
①緊急医療体制	65.3%	68.6%	1
②医療機関	63.1%	54.8%	3
③健康診断・相談、保健予防	61.1%	63.3%	4
④ごみ収集と処理サービス	60.2%	64.9%	2
⑤ごみ減量化と資源リサイクル化	58.8%	60.2%	7
⑥防犯・治安などの安心感	58.6%	60.9%	5
⑦地震・災害に対する安心感	57.7%	58.9%	8
⑧生活支援・介護など高齢者福祉	57.6%	60.9%	6
⑨保育サービス・子育て支援	57.1%	57.8%	—
⑩魅力ある働く場の確保	55.2%	58.5%	9

4 今後のまちづくりへの期待

個別施策 55 項目の満足度指数と重要度指数を2軸とするマトリクスを用いて各施策の評価を行うと以下の図のようになります。全施策の満足度指数平均は「-0.06」、重要度指数平均は「0.28」であり、この平均値で区分される4つの領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行います。

重要度が高く満足度が低い施策としては、健康・福祉分野では「医療機関」「生活支援・介護など高齢者福祉」、生活環境分野では「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「段差や道幅など歩道の安全」「防犯・治安などの安心感」「地震・災害に対する安心感」、都市・交流基盤分野では、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、産業振興分野では、「魅力ある働く場の確保」、教育・文化分野では「小中学校における教育」、住民参画分野では、「市政への市民の意見反映」「健全な財政運営」「行財政改革の推進」があげられています。

前回調査で重点課題として上げられた項目が9項目、新たに2項目（「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「生活支援・介護など高齢者福祉」）が重点項目に、1項目（小中学校における教育）が重点課題から継続推進に位置づけられる結果となりました。



区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満足	平均以上	最も課題のある施策であり重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるように施策を推進する
③課題	平均未満足	平均未満足	課題のある施策であり必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満足	一定の成果が得られており継続の必要性を検証する

5 個別の課題・計画に関する重要施策

個別の課題・計画について、回答率の高かったものを示します。
(前回数値は、前回と同じ質問の場合のみ記載しています。)

(複数回答 N=2366)

Q 健康づくりの充実を図るために必要なことは	今回	前回
医療施設の充実や救急診療、休日、夜間診療体制の充実	52.1%	—
運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり	30.6%	—
健康診査事業の充実	29.6%	—

(複数回答 N=3446)

Q 安心して子育てするために必要なことは	今回	前回
産科・小児科医療の充実	66.6%	—
乳幼児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	31.2%	36.8%
子どもが安心して登校できる交通安全対策、防犯対策	29.3%	41.5%

(複数回答 N=2432)

Q 生活環境を快適にするためには必要なことは	今回	前回
安全安心な居住環境の整備と定住	34.8%	—
不法投棄の防止、ゴミ処理方法の適正化等ごみ問題の改善	33.3%	—
山林や里山の整備や自然環境の保全	30.6%	—

(複数回答 N=2449)

Q 特に関心のある環境問題は	今回	前回
農薬や食品添加物など食品の安全	46.9%	—
CO2 排出による地球温暖化など地球環境への影響	38.4%	—
資源やエネルギーの枯渇	23.6%	—

(複数回答 N=2436)

Q 災害に対して不安に思うことは	今回	前回
大地震により建物・家屋が倒壊すること	61.7%	—
災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること	25.0%	—
災害に対して地域の取組みが希薄なこと	16.7%	—

(複数回答 N=2231)

Q 公共交通サービスの充実について望むことは	今回	前回
自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る	41.5%	40.6%
JR・民間バスの利便性の向上を図る	35.0%	44.8%
乗合タクシー、有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する	24.8%	38.9%

(複数回答 N=2395)

Q 「活力あるまち」にするために重要な取組みは	今回	前回
地産地消や観光との連携による農林業の活性化	30.0%	24.5%
地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす	27.2%	33.1%
工業団地を整備し、企業などを誘致する	26.7%	23.6%

(複数回答 N=2504)

Q 小中学校教育を充実するために力を入れるべきことは	今回	前回
教員の資質・指導力の向上	27.8%	33.6%
子どもの道徳心やしつけの向上	26.0%	57.9%
いじめや不登校の対応	20.3%	15.6%

(複数回答 N=2265)

Q 生涯学習を充実するために特に力を入れるべきことは	今回	前回
子どもころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実	47.3%	—
公民館、図書館を活用した生涯学習講座の充実	30.1%	—
指導者の育成などの生涯学習体制の充実	20.3%	—

Q 市民と行政の協働による地域づくりは進んでいると思いますか	今回	前回
どちらともいえない	46.0%	—
どちらかといえば、進んでいないと思う	16.8%	—
どちらかといえば、進んでいると思う	13.5%	—

Q 地域づくり活動に参加したいと思いますか	今回	前回
機会があれば参加したい	44.8%	—
どちらかともいえない	27.8%	—
どちらかといえば、参加したくない	9.3%	—

(複数回答 N=2387)

Q 主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか	今回	前回
市の発行する広報誌	74.8%	—
自治会等の回覧等	38.0%	—
告知放送	26.1%	—

(複数回答 N=2203)

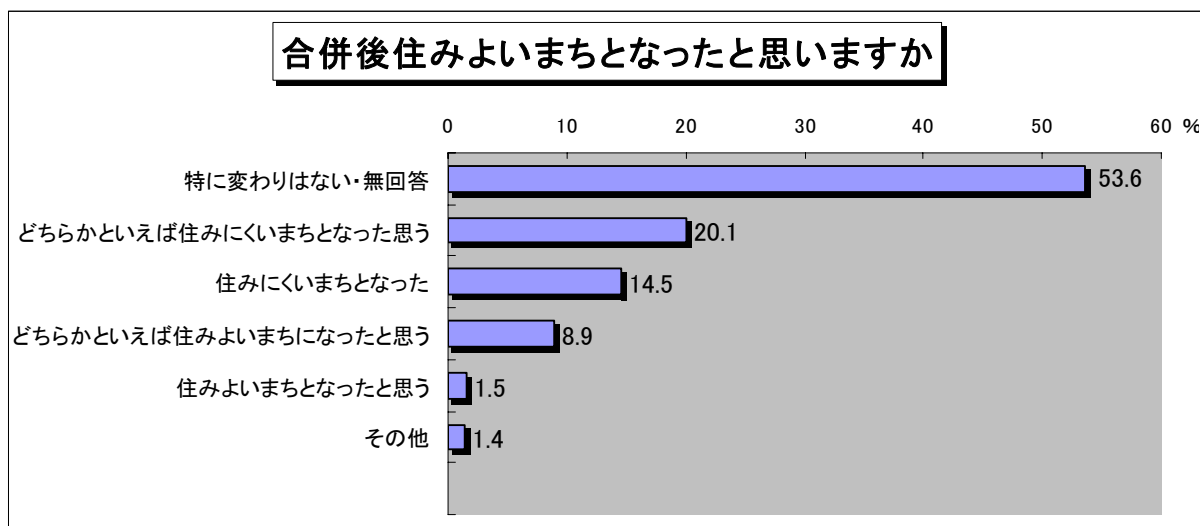
Q 市民の意見を市政に反映するには	今回	前回
市長や議員が多くの市民と対話集会する機会の充実	31.0%	33.8%
庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会の充実	28.3%	36.2%
アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす	28.2%	31.3%

(複数回答 N=2341)

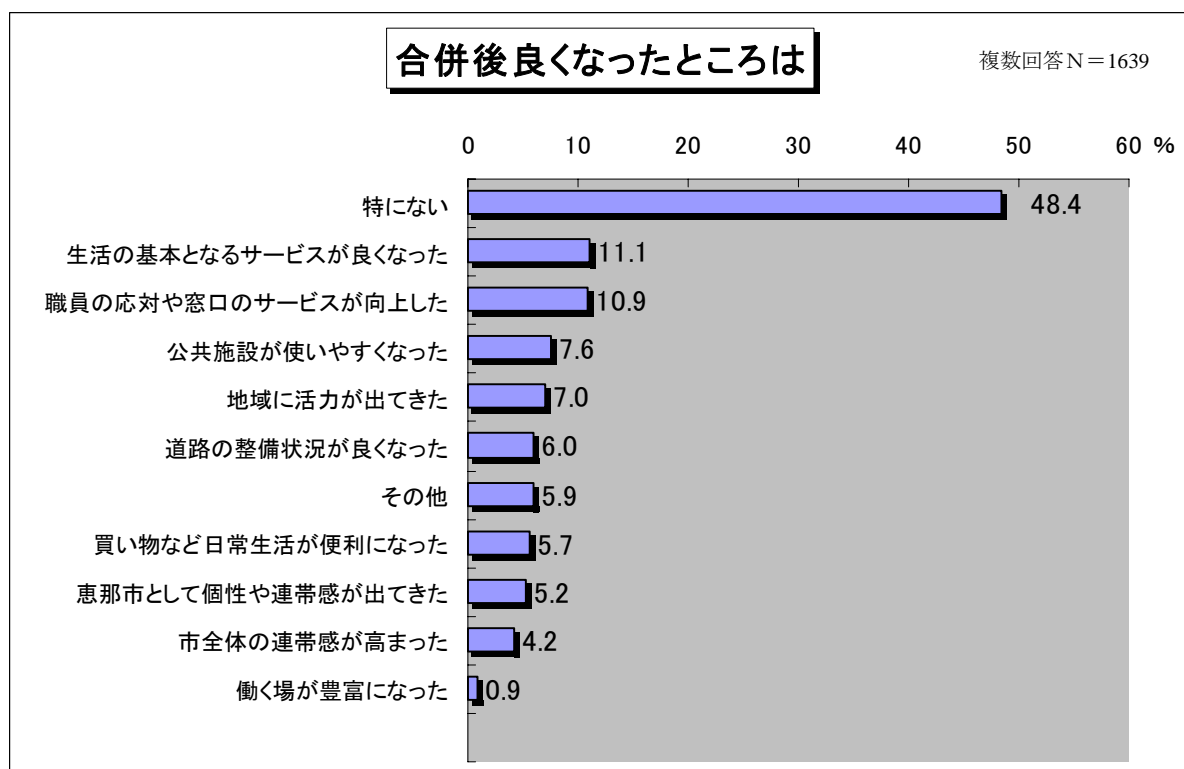
Q 効率的な財政運営のために重点的に取り組むべきことは	今回	前回
行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	35.8%	49.8%
行政組織を簡素・合理化する	21.6%	40.3%
行政職員の意識改革を行う	21.2%	31.9%

6 合併後の市政について

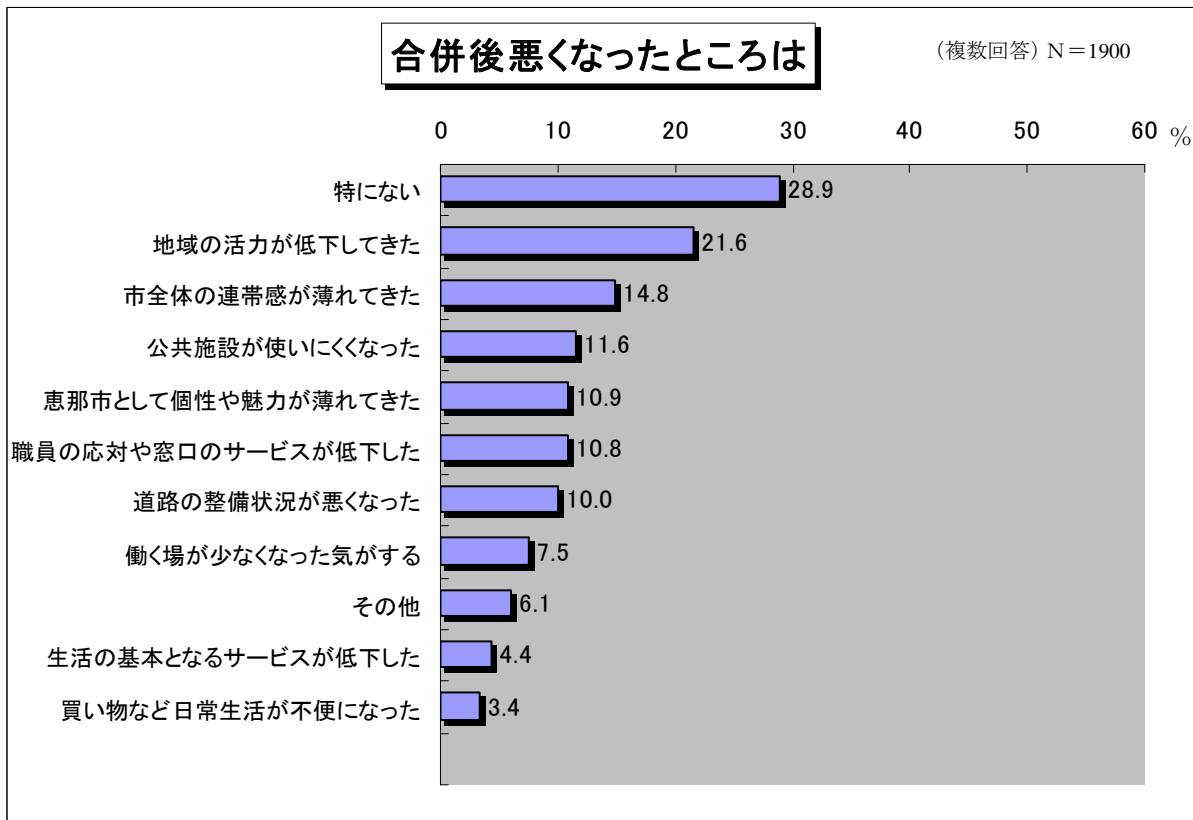
合併後の市政について尋ねたところ、「特に変わりはない・無回答」が53.6%で最も多く、ついで「どちらかといえば住みにくいまちとなった思う」が20.1%、「住みにくいまちとなった」が14.5%で、約1/3の方が合併後住みにくくなったと回答されています。



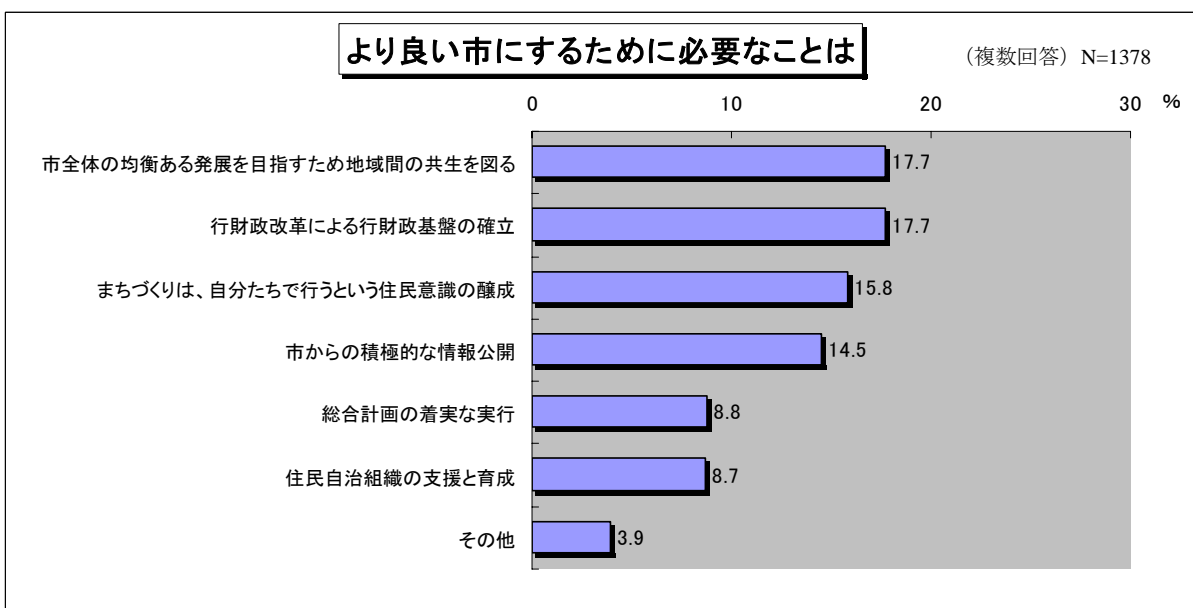
合併後恵那市の良くなったところを尋ねたところ、「特にない」が48.4%で最も高く、ついで、「上下水道やゴミ処理など生活の基本となるサービスが良くなった」「職員の対応や窓口のサービスが向上した」が続いています。大半は合併後に大きな変化があったと感じられていないという結果となりました。



合併後恵那市の悪くなったところを尋ねたところ、「特にない」が28.9%と最も高く、続いて「地域の活力が低下してきた」21.6%、「市全体の連帯感が薄れてきた」14.8%など、まだ合併により、市の一体感の醸成が進んでいないことが伺われる結果となりました。



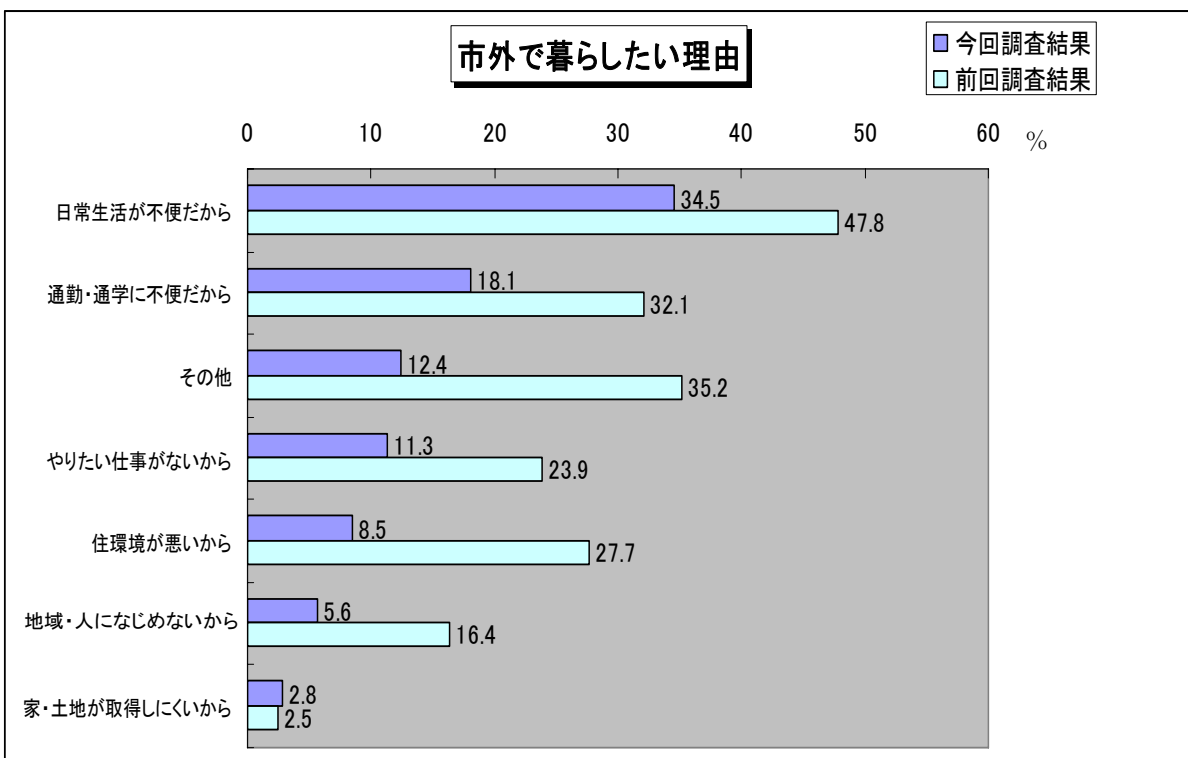
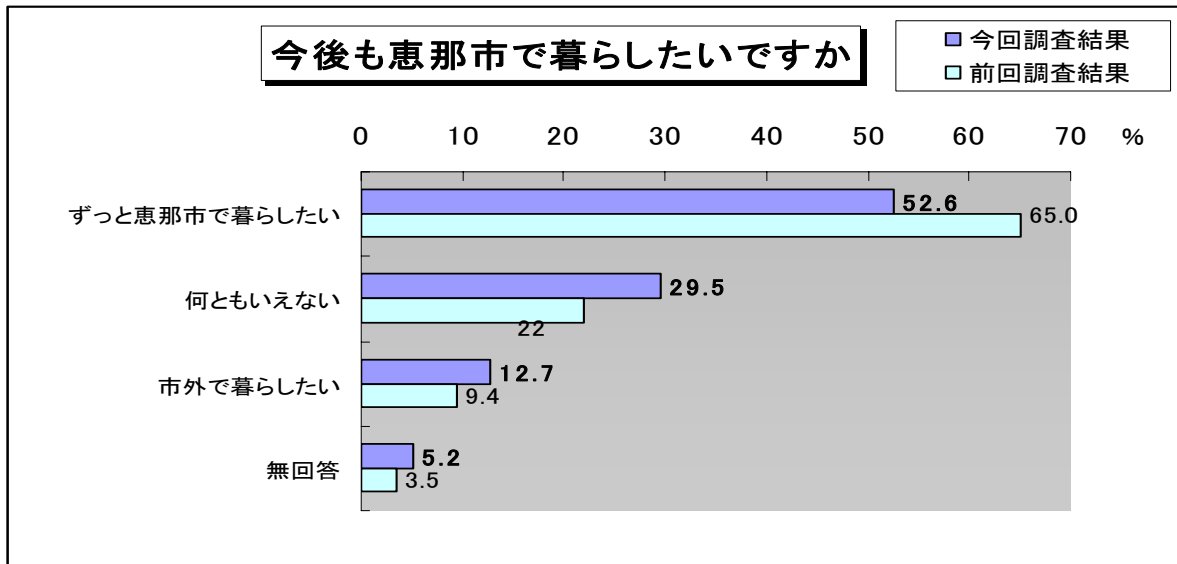
今後恵那市をより良い市にするためには何が必要かと尋ねたところ、「市全体の均衡ある発展を目指すため地域間の共生を図る」が17.7%、「行財政改革による行財政基盤の確立」17.7%が高く、ついで、「自分たちのまちづくりは、自分たちで行うという住民意識の醸成」が15.8%、「市からの積極的な情報公開」14.5%という結果となり、合併後の肥大化した財政規模を適正規模にし、財政基盤をしっかりとしたものにつつ、一方で市民と行政が協働してまちづくりを進めることが、今後の恵那市を良くすることにつながるという思いが伺えます。



7 今後の居住意向

今後も恵那市で暮らしたいかどうかを尋ねたところ、全体では「ずっと恵那市で暮らしたい」が52.6%で、「市外で暮らしたい」12.7%、「何ともいえない」29.5%を大きく上回っています。しかし、「ずっと恵那市で暮らした」は12.4ポイント下がる結果となりました。

また、「市外で暮らしたい」と回答した方に、その理由を尋ねたところ、「日常生活が不便だから」34.5%で、前回調査の47.8%より低い結果となりました。



調査にご協力いただきました市民の皆様ありがとうございました。市民意識調査の結果は、恵那市のホームページでもご覧いただけます。(http://www.city.ena.lg.jp/)

市民意識調査に関するご意見、ご質問は、企画部企画課までお願いします。

〒509-7292 恵那市長島町正家一丁目1番地1

T E L / 0573-26-2111 FAX / 0573-26-6150 Mail: info@city.ena.lg.jp